

令和5年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(内閣府5-24)

政策名及び施策名	政策名「健康・医療」 施策名「匿名加工医療情報に関する施策の推進」	担当部局・ 作成責任者名	健康・医療戦略推進事務局 参事官 日野 力
施策の概要	次世代医療基盤法の国民による適切な理解に基づき、医療情報の利活用により健康・医療に関する先端的な研究開発及び新産業創出を促進する。	事後評価 実施予定時期	令和6年度(1年目評価) 令和10年度(最終年度評価)

施策目標	健康・医療に関する先端的な研究開発及び新産業創出が促進される。									
施策目標の設定 の考え方・根拠	医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報及び仮名加工医療情報に関する法律(2023年5月26日公布)の目的とされている。									
中目標1	匿名・仮名加工が適正に行われる									
参考指標1	認定事業者数					参考指標の 選定理由	匿名・仮名加工を認定事業者が適正に行うことから、その規模の参考となるため			
	参考値 (参考年度)	3 (R4年度)	年度ごとの 実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値 の把握方法	認定事業者数を合計
参考指標2	次世代医療基盤法の認定等に関する有識者・実務会議開催数					参考指標の 選定理由	同会議では、法に基づく認定等について有識者及び実務者から意見を聴取するため、指導・監督規模の参考となるため			
	参考値 (参考年度)	3 (R4年度)	年度ごとの 実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値 の把握方法	会議開催数を合計
中目標2	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな利活用分野が発掘される</li> <li>研究を行う利活用者が増加する</li> </ul>									
測定指標1 【主要な測定指標】	利活用件数					測定指標の 選定理由	医療情報の利活用を直接表す指標であるため			
	目標値 (目標年度)	50 (R10年度)	年度ごとの 目標値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標(値・年度)の 設定の根拠	実績数を踏まえて、一定の伸び率で医療情報の利活用実績が増加するものとして設定
	基準値 (基準年度)	21 (R4年度)	年度ごとの 実績値						測定指標の実績値 の把握方法	認定事業者からの届出数

参考指標3	利活用が見込まれる事業者に対する説明会の回数							参考指標の選定理由	利活用が見込まれる事業者に対して説明を実施することで、新たな利活用分野の発掘につながることを期待されるため	
	参考値 (参考年度)	24 (R4年度)	年度ごとの実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値の把握方法	説明会の開催数を合計
中目標3	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力医療情報取扱事業者が増加する</li> <li>提供される医療情報の件数が増加する</li> </ul>									
測定指標2	協力医療情報取扱事業者の数							測定指標の選定理由	医療情報の利活用に繋がる指標であるため	
	目標値 (目標年度)	170 (R10年度)	年度ごとの目標値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標(値・年度)の設定の根拠	実績数を踏まえて、一定の伸び率で認定事業者に医療情報を提供する事業者が増加するものとして設定
	基準値 (基準年度)	108 (R4年度)	年度ごとの実績値						測定指標の実績値の把握方法	認定事業者からの届出数
測定指標3	医療情報の収集規模							測定指標の選定理由	医療情報の利活用に繋がる指標であるため	
	目標値 (目標年度)	740万人 (R10年度)	年度ごとの目標値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標(値・年度)の設定の根拠	実績数を踏まえて、一定の伸び率で医療情報の収集が進むものとして設定
	基準値 (基準年度)	261万人 (R4年度)	年度ごとの実績値						測定指標の実績値の把握方法	認定事業者からの届出数
参考指標4	医療機関・自治体等に対する説明会の回数							参考指標の選定理由	医療機関・自治体等の理解が深まることで、提供医療機関・自治体が増加し、提供される医療情報の件数の増加が期待されるため	
	参考値 (参考年度)	10 (R4年度)	年度ごとの実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値の把握方法	説明会の開催数を合計
中目標4	国民・患者の制度に対する理解が増進される									
参考指標5	住民説明会の数							参考指標の選定理由	住民への説明会の実施で、国民・患者の制度に対する理解増進が期待されるため	
	参考値 (参考年度)	2 (R4年度)	年度ごとの実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値の把握方法	説明会の開催数を合計

参考指標6	コールセンターへの問い合わせ件数					参考指標の選定理由	問い合わせに対応することにより、問い合わせをした国民・患者の制度に対する理解が深まると考えられるため		
	参考値 (参考年度)	151件 (R4年度)	年度ごとの実績値	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	参考指標の実績値の把握方法

施策に関連する主な内閣府事業 (開始年度)	関連する中目標・ 行政事業レビュー 事業番号	予算額 (執行額) ※単位:百万円					事業概要
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
1 次世代医療基盤法に関する国民・患者の理解の増進に必要な経費	中目標4 0136	48.3					次世代医療基盤法が国民に適切に理解され、産学官による匿名加工医療情報の積極的な利活用を推進するための事業を行う。具体的には、広報活動、啓発活動を通じて、制度に対する国民の理解を深める事業等を行う。
2 匿名加工医療情報の利活用に必要な経費	中目標2、3 0137	64.5					次世代医療基盤法が円滑に施行され、産学官による匿名加工医療情報の積極的な利活用を推進するための事業を行う。具体的には、匿名加工医療情報の利活用に向けた調査を基に、医療機関、地方公共団体、利活用事業者などの協力者・利用者を拡大するための事業等を行う。
	施策の予算額 (執行額)	112.8					

施策に関連する内閣の重要施策 (施政方針演説等のうち主なもの)	年月日	関係部分抜粋
1 健康・医療戦略	令和2年3月27日第2期閣議決定	医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律の下、「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針」に基づき、広報・啓発による国民の理解の増進を行うとともに、産業界を含む幅広い主体による匿名加工医療情報の医療分野の研究開発への利活用を推進する。